

「吉野中学校の観光ボランティアガイドの取組」

| | | |
|------------------------------|---|--|
| 1. 学校名 | 鹿児島市立吉野中学校 | |
| 2. 学年・人数 | 1年生1人、2年生4人、3年生5人 計10人 | |
| 3. 日時・場所 | (1) 日時：令和7年4月からは、月に1～2回程度、日曜日の午後実施 (2) 場所：関吉の疎水溝（鹿児島市下田町）での現地ボランティアガイド | |
| 4. 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について | <p>(1) 関吉の疎水溝（せきよしのそすいこう） 江戸時代 (2) 関吉の疎水溝は、2009年に九州・山口の近代化産業遺産群の構成資産の1つとして世界遺産暫定リストに記載され、2015年に「明治日本の産業革命遺産製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として正式登録されています。</p> <p>元は、江戸初期に農業用水のために建設されたものです。その後、集成館での鑽開台の動力源として水車が必要とされたため、島津斉彬が関吉の疎水溝の改修や整備を実施しました。</p> <p>鹿児島市川上町に位置していて、稲荷川から溶結凝灰岩上に水路を引いて、磯まで約8km続きます。取水口の高度は132mですが、尚古集成館付近の「落とし」と呼ばれる地点でも124mで、8メートルほどの高低差しかありません。そのため、非常に緩やかな水の流れとなっているのが大きな特徴です。</p> | |
| 5. 活用の取組において地域との連携や工夫した点等 | <p>平成31年から、学校の教育課程外での有志により活動しています。地域の歴史に関心のある生徒、ボランティア活動に関心のある生徒を中心に、毎年募集をして、今年度で8年目の活動となりました。鹿児島市のガイドと連携を取りながら、観光客に「関吉の疎水溝」の素晴らしさを伝えるために、日々研鑽に努めてきました。</p> <p>また、地域コミュニティの行事に参加して、関吉の疎水溝を地域に広く紹介する活動も行っています。</p> | |
| 6. 取組の様子（研究発表等） |  |  |
| 7. 感想・意見（参加児童生徒・保護者・保存会・教員等） | <p>(生徒感想)</p> <p>観光ボランティアをすることによって、身近にある史跡のことについて詳しく知り、より知識を深めることができました。また、観光客や初めてあった人にも、堂々と話をしたり発表をしたりすることができるようになりました。</p> <p>今年は世界遺産登録10周年なので、様々なイベントに参加し、いろいろな人と意見交換できたのはよかったです。</p> | |

世界遺産看板前でのガイドの様子

吉野兵六ゆめまつりでの「関吉の疎水溝」の紹介